

# 西建協だより

288号

2018年7月



## 就任のご挨拶

新理事

馬場 英明

この度、西多摩建設業協同組合第五十二回通常総会におきまして理事に任命されました株式会社馬場組の馬場英明と申します。

歴史ある西建協の、そして榎森新理事長による新体制の一員に加わる事となり、微力ではありますが誠心誠意務めさせて頂きます。皆様どうぞよろしくお願致します。

昨今の建設業界における諸問題の中での「担い手確保」という大きな課題について、また、その取組みとしての「働き方改革」や「生産性向上」が必要であるなど、ここ数年、多くの機会で見聞きし認識していたフレーズが、既に現実と直面している問題であることを実感しています。具体的には弊社内では勿論ですが、協力業者さんの多くでも、技術者・技能労働者の高齢化が進み、将来的には担い手が不足することが分かっていて、若年層を確保することが現状としてできていないことが大きいです。

個々の企業として、また建設業者団体として、担い手確保の取組みを進めるにあたり、二つ目は働き方改革関連で、建設業も労働環境が整備され以前と比べて働きやすくなっていること。他の産業では当たり前となつていく、週休二日の確保が不十分であったが、官民の連携により改善されていくなどです。そんなことを考えながら理事として働かせて頂きますので、皆様のご協力をよろしくお願致します。

## 就任のご挨拶

建災防西多摩分会長

上坂 健一

先般の平成三十年定期総会におきまして分会長に就任いたしました上坂でございます。建設業の労働災害防止にこれまでより更に身を引き締めて取り組まなければと考えます。

本年は「第十二次労働災害防止計画」並びに「第八次建設業労働災害防止五ヶ年計画」の初年度にあたります。建災防の策定した「第八次建設業労働災害防止五ヶ年計画」期間目標は、

- 一、死亡災害の平均発生件数を「第七次計画」期間に対して十五%以上の減少
- 二、墜落・転落による死亡災害の平均発生件数を「第七次計画」期間に対して十五%以上の減少

## 就任のご挨拶

新理事 井戸 功誠

青梅市にあります井戸鉄建株式会社代表取締役社長井戸功誠と申します。

平成三十年五月二十三日(水)第五十二回通常総会におきまして、新任理事に選任いただきました。微力ではありますが、西多摩建設業協同組合と組合員の皆様のお役にたてるように、一生懸命務めさせて頂きたいと思っております。

さて、平成三十年七月に入り、西日本の広い範囲で雨が降り続き、多くの土砂崩れ・川の氾濫などが発生し、多くの方々が被災し、命を落とされました。ご冥福をお祈りいたします。

## 総務委員長就任のご挨拶

理事 宮崎 一二三

この度、総務委員長に就任致しました有限会社宮崎土木の宮崎と申します。前期まで副委員長を務めさせて頂いてからの委員長任命に、改めて身の引き締まる思いでございます。

これまで以上に組合事業の推進に努めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

り組みも行われます。

昨今建設業界は担い手不足、作業員の高齢化、熟練者の減少といった労働災害の要因でもある問題を抱えています。安全をなくして事業の繁栄・継続はあり得ません。会員におかれましては社内、協力会社の一人一人に労働災害防止計画の趣旨、取り組みへの協力の周知徹底をお願いいたします。

会員、関係各位の方々にご指導ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。

上坂と申します。

ます。後に被害の大きさから、「西日本豪雨災害」という自然災害に認定されました。さかのぼること一年前、平成二十九年十月二十四日には福島県で阿武隈川が氾濫しました。

さらには一年前の平成二十八年四月十六日には熊本地震も発生しました。毎年のように、日本列島のどこかで何らかの自然災害が発生していることになりました。

我々の住む西多摩エリアも、四年前には大雪に見舞われました。青梅市でも、青梅市立第三中学校の体育館の屋根が、大雪により崩落する災害がありました。当然民間でも、カ

私たちが建設業を取り巻く状況は、私からご説明するまでもございせんが、景気は回復しつつあると言われながら依然厳しい状況が続く、オリンピック・パラリンピック開催の景気に沸く都心部とは異なり、いわゆる三多摩格差を改めて実感しているのが現状ではないかと感じています。

受注量確保が不透明な現状の中、入札制度の変更や人材不足、事業継承者問題など更に経営を圧迫する難しい課題が山積みそのままとなっております。

しかしながら、毎年のように日本各地で発生する自然災害は頻度を増し、河川や山間部を多く抱える西多摩地区において、行政や地元の方々から災害対応機関としての期待が更に高まっております。

本年度事業計画の重点目標として、災害対策組織の強化および近隣組織との

武田組の武田と申します。歴代の諸先輩

ーポートや倉庫がつぶれるなどの被害がでました。この大雪では、私自身も十一時間重機に乗り、雪をどかし、少しでも早く近隣の方々が通常の生活にもどれるように努力しました。その時に、多くの近隣の方々やお客様から感謝の言葉をいただくことができました。我々の仕事は、社会基盤を支えるために、大きな役割を果たしていることを感じました。個々の力ではたいしたことはできないことも、力を合わせれば大きな力になります。西多摩建設業協同組合としても、みんなで努力し、社会的な役割を果たし、社会から必要とされる存在であり続けるために、頑張りましょう。これからよろしくお願致します。

連携、西多摩地域における社会貢献を掲げており、三多摩建設業連合会による被災地視察事業等、積極的な参加など、被災地の業団体から実経験の声を参考に、より実践力に繋がる事業活動を実施していきたいと思っております。

これからも、建設業を取り巻く環境は早いスピードで変化し、必要とされる対応力は個々事業者の能力だけで乗り越えられないものばかりではあります。

今後とも組合活動を通じて共に情報を共有し、一歩づつ確実に対応していかねければならないと思っております。

委員会運営にあたり、会員の皆様に対しより内容の濃い事業活動となるよう努力致しますので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願致します。ご挨拶とさせて頂きます。

方に恥じないよう会員の皆様のご協力を頂きながら災害対策安全委員の(2面につづく)

## 災害対策安全委員長就任のご挨拶

理事 武田 雅由

本年六月より災害対策安全委員長という大役を仰せつかりました株式会社武田組の武田と申します。歴代の諸先輩

方々と共に微力ながら精いっぱい務める所存です。宜しくお願い致します。

就任にあたり西多摩建設業協同組合が所属する三多摩建設業連合会にて、五年前より震災・豪雨災害地区を視察してまいりましたが、今月も大島の豪雨災害の被災現場を視察し、地元業者から災害の恐ろしさとその対応を聞き、災害対策安全委員長の重大さを改めて痛感してまいりました。その矢先、この平成三十年七月西日本豪雨が発生し、甚大な被害発生しました。

私達が住むこの西多摩も山間部では急峻な山々に囲まれ、平野部では多摩川や秋川等の河川があり、いつ西日本豪雨のような豪雨により災害が発生するかわかりません。災害に見舞われた際、どのような準備をしておき、どの様な対応をする事が出来るか、日頃よりご家族や社員と話し合い対策を行っておく事が必要だと思います。組合としても組合員の皆様と更なる意識の向上にご協力出来ればと考えています。この事はいざ起り得る立川断層震源などの関東大震災発生時の対応にもなるのではないかと思います。まずは九月一日の防災の日に予定している震災対応訓練の道路啓開活動にご協力をお願い致します。

伊豆大島・土砂災害被災地視察研修記

広報委員 高木直哉

平成三十年七月五日と六日の二日間、三多摩建設業連合会の視察研修事業として、平成二十五年十月に土砂災害のあった伊豆大島へ行ってまいりました。

現地では、大島町役場の方から当時の被災状況の説明があり、復旧の施工方法については施工に当たった大島町の建設業者の方から説明して頂きました。

被災状況としては、山間部での大量の降水によって起こった地盤が軟弱化し、表土と岩盤面での地滑りによる土砂・立木等を含んだ土石流が発生したため、麓での被害は死者三十五人、家屋被害八十六件といった、大規模な自然災害でした。

大島の治山、治水の施設はある程度は整備されておりましたが、未整備であった地区に土砂災害が発生してしまい、このような大規模な被害となってしまうようです。

復旧作業で流出した土砂、流木の処理に伴う置場の確保が困難であったことや二次災害発生の危険など様々な苦労があったこと、また土砂で埋まってしまった家屋、道路設備の掘出に関しては、住民の安否が確認されていない状態で、生きたまま、家屋と共に埋まってしまっ

りません。災害に見舞われた際、どのような準備をしておき、どの様な対応をする事が出来るか、日頃よりご家族や社員と話し合い対策を行っておく事が必要だと思います。組合としても組合員の皆様と更なる意識の向上にご協力出来ればと考えています。この事はいざ起り得る立川断層震源などの関東大震災発生時の対応にもなるのではないかと思います。まずは九月一日の防災の日に予定している震災対応訓練の道路啓開活動にご協力をお願い致します。

私達組合員は、除雪も含めて地域社会・地域住民の安全安心を担う者として、責任感を持って毎日を過ごしていられたいと思います。今後も準備と訓練

る可能性があるなかでの慎重な作業であった等のお話を聞かせて頂きました。災害発生からの日数が経つに連れ、行方不明の罹災者の方の生存の希望も薄く、辛い作業であったと思われませんが、地域でいち早く対応にあたるのはやはり複数の重機や人材を抱える地元の建設会社であるため、私どももそのような事態に遭遇した場合には、努力を惜しまず、強い心をもつて作業にあたれるようにと身が引き締まりました。

つい先日、西日本で豪雨による土砂災害、河川堤防の決壊などで水害があり、二〇〇名にのぼる死者がありました。西多摩地区は東京でも山間部の多い場所であり、生活の安全を守るた



◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』  
〈青梅校 2018 年度開講講座〉

- ◎ 1 級建築施工管理技士 実地コース
- ◎ 1 級土木施工管理技士 実地本科コース
- ◎ 給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木  
講義日程 7 月下旬～10 月中旬 18:40～
- ◎ 2 級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木  
講義日程 6 月下旬～10 月中旬 18:30～
- ◎ 宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水  
講義日程 3 月中旬～10 月中旬
- ◎ 2 級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木  
講義日程 8 月中旬～11 月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(9 年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

\* 詳細説明は随時致します。

\* 先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川  
日建立川校 担当: 澤田 080-9349-3870

6 月 事 業 報 告

- 1 日 三建連 合同企業説明会開催  
場所: 日本工学院八王子専門学校
- 7 日 三多摩建設業連合会 定期総会 (会場: 昭島市内)
- 8 日 広報委員会 287 号編集発行
- 15 日 安全週間説明会 定期総会 (西多摩分会)  
会場 羽村市 ゆとろぎ 2 階講座室
- 19 日 理事会
- 26 日 秋川流域委員会

7 月 事 業 計 画

- 1 日～7 日 全国労働安全週間
- 4 日 広報委員会 288 号編集
- 5 日 三多摩建設業連合会  
伊豆大島土砂災害被災地視察研修
- 11 日 西建協・若手経営者の会 役員会
- 17 日 総務委員会
- 18 日 理事会
- 26 日 災害対策安全委員会
- 27 日 秋川流域委員会
- 31 日 事業員会